



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

2105

会 長 野口 宏 会長エレクト 中村友彦
副 会 長 高橋 清 幹 事 新村千成
プログラム・クラブ会報委員会
例 会 場 辻 彰彦 橋本日吉 板垣克浩
きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)

事 務 所 大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
大和中央ビル 301
TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
E-mail : naka-office@ynrc.jp
URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

CREATE HOPE in the WORLD

「世界に希望を生み出そう」

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「リスタート みんなで語ろう 夢のつづきを」

【本日のプログラム】 10月5日 第3回クラブ協議会「ガバナー公式訪問」田島敏久 様

【次回予告】 10月19日 卓話「米山月間にあたり」三荒弘道 様、チンロ 様

【第2099回例会】 令和5年9月28日(木) 【SL】 大根田 裕志 君 【司会SAA】 石川 達男 君

【斉唱】「それでこそロータリー」 【ゲスト】 端山創之 様、米山奨学生 チンロ 様

会長の時間 野口 宏 会長

皆さん、改めまして こんにちは。

週末は妻と表参道に出掛けてきました。今時のカフェのテラス席でランチをしたのですが、涼しくなって本当に快適でした。表参道はファッションな若い子ばかりで、少

子高齢化なんて微塵も感じませんでした。それから外国人観光客が本当に多かったです。またマスクを付けてる人をほとんど見かけることがありませんでした。

大和中ロータリーも本年度からは、席を対面式に戻し、マスクを付けている方はだいぶ減りましたが、なかなかコロナ前の状況に戻らないのが、握手じゃないかなと思います。私は会長という立場もあって、なるべく皆様に歓迎と感謝の意味を伝える為に握手をしたいと思っておりますが、まだまだ相手の様子を見ながら、恐る恐る手を差し出すといった感じです。皆さんはいかがでしょう？

本日の会長の時間は「触れ合いが信頼と協調を

育む」という話をさせていただきます。

イギリスの歴史学者であるトーマス・フラーはこう言っています。“見れば信じられる だが、触れることができれば それは真実だ” よく百聞は一見に如かずと言いますが、視覚だけでなく触覚がいかに大事かをこの言葉は伝えていると思います。人間の五感(視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚)の中で触覚は視覚や聴覚の次に考えられがちですが、人間の発達にとって触覚は大変大事です。人間はどの動物よりも子供の期間が長いです。生まれて5年経っても自力で生きられない生物は他にはいません。このような長い幼児期に、触れ合いスキンシップを取らず、特に愛情的な接触を欠いたまま育つと、重大な危機を招く事がわかっています。生まれつき目や耳が不自由な方も、脳は健常者とほぼ同じように発達し、豊かで実り多い生活を送ることが出来ますが、生まれてすぐに他者との触れ合いを絶たれてしまうと、恐ろしい事態に至ります。実際に1980年代から90年代にルーマニアの児童保護施設で、ひどい人手不足から子供へのスキンシップ不足の状況が生じました。その子供たちは成長が遅れ、強迫的に体を揺すったり、気分や認知、自己コ

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 8名(敬称略)
28名	18名	69.23%	69.23%	2名	原嶋、池澤、板垣、黒坂、長野、向井、苗加、土屋

ントロールに障害が現れ、それが成人後にも続きました。また別の研究では、触れ合い不足によって脳の萎縮も起こることがわかっています。

このように幼児期や成長期に触れ合いが大事なのは理解できても、大人になったら触れ合い(スキンシップ)がなくても何も問題ないだろうと考える方は多いと思います。しかし大人同士の触れ合いは社会的な結びつきに極めて重要です。もちろん夫婦は触れ合いによって永続的なカップルになる事ができますし、職場や私たちのような活動の場でも、触れ合いにより、感謝や共感、信頼の気持ちが育まれ、人との結びつきが生まれます。海外のレストランでは、ウェーターに軽く触れられた人の方が残すチップが多いと言われています。まあこういった触れ合いの効果は皆様も夜のお店の方で沢山経験されていると思います。

ここでアメリカのプロバスケットリーグNBAで行われた調査を紹介したいと思います。私もあまりバスケットの試合は見ませんが、野球やサッカーよりもチームの仲間同士の触れ合いが多いスポーツだなあという印象があります。得点が頻繁に入るのも一因だと思いますが、ゴールが成功した後にハイタッチしたり、お尻をたたいたり、バンプを派手にしているイメージがあります。そこでカルフォルニア大学のマイケル・クラウスは、選手間の接触はチームの信頼と協調を育むものであるから、シーズン開幕当初の選手間の触れ合いの多さは、その後のシーズンにおける協調的プレーとチームの好成績の繋がるのではないかと推測し調査しました。実際にはNBA全30チームの開幕後2ヶ月分の録画をチェックし、ゴールを喜ぶ接触を数えました。(ハイタッチやショルダーバンプ、チェストバンプなど)またチームメイト同士の声の掛け合いやパス交換などのチームプレーも全て調べました。統計結果は予測通り、勝ち越したチームは負け越したチームより接触時間が倍近く長かったそうです。もちろんスター選手などが多いチームは得点場面が多くなりますので、統計的修正は加えておりますが、それでも接触と成績の相関関係に違いはありませんでした。

私たちロータリークラブとプロのバスケットチームでは、かなり大きな隔たりはありますが、ちょっとした触れ合いが協調と信頼を育むことに違いはないと思います。ロータリー以外で握手をする場は、ほとんどありません。早く元通りに戻って欲しいと思います。それでは本日もよろしくお願いいたします。



米山奨学生 陳璐 様

幹事報告 新村 千成 幹事

- ①12月3日(日)「新会員の集い」が開催されます。対象者は2020年7月以降に入会された方となります。
- ②11月12日(日)「第57回 神奈川県ロータリーアン親睦テニス会(上野杯)」が開催されます。
- ③10月25日(水)「ポリオデー」がシリウスにて開催されます。当日は夜間移動例会となります。なおポリオデー向けのポロシャツが販売されておりますので、購入申し込みしてお待ちしております。
- ④パキスタン洪水被害義援金協力をお願いします。

委員会報告

【お祝いの方々】

親睦活動委員会 小野 泰弘 委員長

会員誕生日	小柳 智裕 君	10月4日
入会記念日	中村 友彦 君	10月1日



卓 話

「ロータリーの友の魅力」
2022～23年度ロータリーの友
地区代表委員
端山 創之 様



ロータリーの友 地区代表委員



地域雑誌の定義『ロータリー章典』

ロータリーの地域雑誌は「ロータリーの目的」をあらゆる面にわたって推進するために存在する。以下の基準を満たすロータリーの出版物は、ロータリー地域雑誌(紙・電子版のいずれをも含む)として認められる。

1. その雑誌は、地区以上もしくは2 国以上の地域を対象に発行されるものであること
2. その雑誌の出版は、全面的に顧問委員会の直接監督下に置かれること
3. その雑誌の記事はRIの方針と調和し、その少なくとも50 パーセントはロータリーまたはロータリー関連の話題に関する記事であること
4. 地元あるいは地域のニュースに加えて、RIに関する情報を掲載し、かつRIから要請された話題や特別に指定された文章を掲載すること
5. その雑誌は、年に少なくとも1回発行され各号につき少なくとも24 ページとすること
6. その雑誌は、ロータリーの品位と性質にふさわしく全体的に高い「魅力的な外観」を保ちロータリー標準の複製においてRI理事会の指針に従うこと
7. その雑誌は、その目的と経済的自立を維持できるよう、該当地域のロータリアンの過半数に達する発行部数を確保していること
8. その雑誌は、RIに経費を負担せず、十分な財源を備えていること
9. その雑誌は、RIとの免許契約に定められている規則にRIへの報告義務を守っていること
10. その雑誌はロータリー標準の使用と会員への配布について、出版と配布に関する免許契約をRIと交わしていること

地域雑誌の定義『ロータリー章典』

11. その雑誌は「Rotary」記号をとり、その地域でクラブ会員や候補者とRIとのコミュニケーションの基本的な手段となる責任を果たすものであること
12. 地域雑誌の編集者は、こうした目的の範囲内で各自、担当雑誌の作成の責任を負うこと
13. RIから提供される月ごとの指定記事、または地域で用意された同じ一般的なテーマや情報を伝える記事は、認可されたロータリー地域雑誌によって使用されなければならない
14. 認定された地域雑誌は、RIとの免許契約に定められた通り、指定記事を掲載することが義務づけられている
15. 新しく雑誌が認可を受けるには2 年間の試験的プログラムを完了しなければならない
16. 認定されたロータリー地域雑誌のみが、RIからの支援やサービスを受けるものとする
17. 「Rotary」記号および地域雑誌は、雑誌の国際性を強めるために、自費の編集記事や写真を交換し、続けるものとする

歴史



1952年7月 日本のロータリーは2つの地区に分割されました
日本全国のロータリアンやロータリークラブを一つに繋ぐ想いで
1953年1月に創刊されました
1980年7月からは 国際ロータリーの公式地域雑誌となり
その後RIの認可を受け、ロータリーの機関雑誌として
全国のロータリアンと 国際ロータリーとを結ぶ役割を担う事となりました

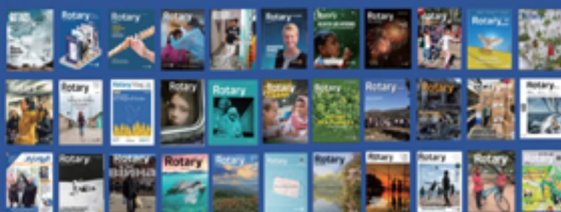
国際ロータリー指定記事



RI 指定記事

- ★ RI会長メッセージ
- ★ 財団管理委員長メッセージ
- ★ その他

Rotary Global Media Network



横組みと縦組みがある理由



ロータリー地域雑誌



RIの地域雑誌の要件を満たした RI理事会が指定した雑誌
ロータリークラブの正会員は、RIの機関雑誌『ROTARY』
またはRI理事会が承認した地域雑誌の有料購読者となり
会員であるかぎり購読を続けることを 会員身分保持の条件
としなければならない

標準ロータリークラブ定款第15条(『2019年 手続要覧』P55)および
RI規則第21条(『2019年 手続要覧』P45～46)

『ロータリーの友』にご投稿を!

- 写真の投稿
ニュースや海外ロータリークラブ訪問記、時局感など 原稿:1000 字以内 写真:関連写真あれば添付
- ロータリー・クラブ・活動の紹介
ロータリークラブ、地区、インター・クラブ、ロータリー・クラブなどの奉仕活動を写真で紹介 活動後1ヵ月以内に
ご投稿ください。原稿:150 字程度(必ず活動日を入れてください)
写真:集合・記念撮影以外で活動の様子が分かるもの
- ロータリー・クラブ・活動の紹介
ロータリークラブ、地区、インター・クラブ、ロータリー・クラブなどの奉仕活動を文章を中心に紹介
活動後1ヵ月以内に投稿ください
原稿:600 字以内 写真:あれば添付(記念撮影以外)
- ロータリー・活動・写真・動画の投稿
1ヵ月に1人、はがき1枚に3枚(面)まで、作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入
編集のみの投稿フォームから受け付け可

